

入選

アレルギー 鼻炎と皮膚炎 二刀流
うるむ目を恋と間違う 花粉症
蕎麦よりも傍にいる妻アレルギー

井上靖様
岸 奈月様
ぼんべい様
川野誠様

最優秀賞

デジタルにアナログ脳がアレルギー
外人が蕎麦うまそうに恨めしや

井上靖様
岸 奈月様

特選

くしやみして
花より鼻で 春を知る

南和男様

第十四回 さんくろう川柳

298通の応募を頂きました。ありがとうございます。今回のテーマは「私のアレルギー」です。さんくろう川柳選考委員会による審査の結果、左記の6名様が受賞されました。

結果発表

最終選考まで残った20句をご紹介します。

- ❖ 花のない私もなれる 花粉症 黒飛 義竹様
- ❖ 無いですが 苦手な人の 処方箋 渡辺 佳幸様
- ❖ 価格より目を光らせる 原枝料 石畠 秀高様
- ❖ 人の気も知らずに花粉 飛びスギる 西村 芳和様
- ❖ ほのかとはいいがたいほど 香る服 藤井 京子様
- ❖ 花粉症 デビューを果たす 祖父90 角森 多久哉様
- ❖ 俺だけが 固まるパソコン アレルギー 山野 大輔様
- ❖ 見えないよ！ 食品表示の アレルギー 宮島 幸夫様
- ❖ 70年 婚約指輪も 箱のまま アオの 金魚様
- ❖ アレルギー 義母だと夫に 言い出せず 森 つぐみ様
- ❖ 食べ放題 カニが 食べずに 刺を食う 高野 信夫様
- ❖ ヘビメタは 好きでも 身体 メタル拒否 坂本 義教様
- ❖ その痒さ 代われるならば わが子から 綾部 保知様
- ❖ 苦手野菜 アレルギーだと 嘘つく子 大恵 やすよ様
- ❖ 花粉症 免疫若いと 言い聞かせ 須賀 毅様
- ❖ キヤッシュレス ゲッパイ 硬貨 アレルギー 山宗 雲水様
- ❖ 妻の刺す 言葉の針が アレルギー 野上 寛子様
- ❖ おはようを くしやみで 返す 花粉症 ゆめ パパ様
- ❖ アレルギー 反応鈍し われ未寿 富春 様
- ❖ アレルギーは 甘えと孫に 食わす 義母 みなまる 様

さんくろうニュース
めだか MEDAKA 10月号
2024年 (No.95)

Topic 新任の医師を紹介します

Services Information BLS&AED 普及指導チーム BLS&AED 研修



広報誌名「めだか」は、当院の庭でみんなに愛でられ育つめだかのように、親しんでいただきたいという思いから名付けられました。

めだか 95号 (2024年10月) 年3回 (2月、5月、10月) 発行

表紙絵: 「美しい夢が見られる実」 坂尾 有美

発行責任者: 加藤 真二 発行: 医療法人 三九会
〒471-0035 愛知県豊田市小坂町7丁目80番地
TEL 0565-32-0282 (代) FAX 0565-35-2570

外来診療のご案内 サンクロー
診療予約専用 ☎0565-35-3960



医療法人三九会

新任の医師を紹介します

2024年7月より、三九朗東リハビリテーションの常勤医として大島共貴医師が着任しました。医師を志したきっかけや当院の印象をお聞きしました。

— ご出身はどちらですか？

大島：名古屋市で生まれ、大学進学までは愛知県稲沢市に住んでいました。

— 当院の印象はいかがですか？

大島：建物も職員さんもとても明るく働きやすい印象です。

— 医師を志したきっかけは？

大島：医師という「人に感謝される職業」に憧れて。高校時代の同級生の影響も大きかったと思います。

— 専門の診療科は？

大島：脳神経外科、脳血管内治療です。

— 趣味や特技は何ですか？

大島：テニス、ゴルフ、釣りなどですが、これまではどれも満足できていません。

— もし医師になっていなかったら？

大島：物作りが好きなので、土木建築や町工場などの仕事をしていたかな。今でもダイソーやニトリのアイデア商品を作りたいです。

Topic



おおしま ともたか
大島 共貴 医師

鹿児島大学医学部卒業
日本脳神経外科学会専門医・指導医
日本脳神経血管内治療学会専門医・指導医
日本脳卒中学会専門医

— マイブームは？

大島：脳血管内手術のカテーテルやトレーニングモデルを作っています。世界中の脳卒中患者さんが私の道具で救われることを切に願っています。

— 日頃の診療で心がけていることは？

大島：分かりやすい説明、フットワークの軽さです。複数の治療選択肢をデータで紹介して、自分や

自分の家族に行いたい治療法も提示しています。

— 患者さんへ一言お願いします。

大島：頭の病気については何でもお答えできます。どうぞ気軽にご相談ください。



🎤 インドネシアからの新人スタッフに聞きました

三九朗東リハビリテーション病院では、今年3月から、インドネシアより3人の特定技能外国人を受け入れています。日本人の新人スタッフと一緒に、勉強しながら日々仕事を続けています。日本での生活や職場の印象をインタビューしました。

今日もお元気でね～



アリヤさん

日本の夏が暑すぎることに驚きました。日本人と話すことが楽しいです。入浴介助が好きな仕事です。いろいろな介助や会話が上手な介護福祉士になりたいです。

ナンダさん

日本では時間を守ることと歩くスピードが速いことに驚きました。鞍ヶ池公園に行ったら景色がきれいで楽しかったです。私も入浴介助が好きです。患者さんのお話をよく聞いて、気持ちの分かる介護福祉士になりたいです。

アキラさん

日本の天気が変わりやすいことに驚きました。患者さんとの会話や介護の仕事が楽しいです。仕事ができ、優しい介護福祉士になりたいです。

BLS & AED
普及指導チーム

BLS & AED 研修

三九朗病院 BLS & AED 普及指導チームリーダー まつなが ひろゆき 松永 弘幸

三九朗病院では BLS & AED 普及指導チームが応急手当の講習を担当しています。BLSとはbasic life supportの略語で、心肺蘇生または呼吸停止に対する一次救命処置のことです。院内での活動内容を紹介します。

チームメンバー

メンバーは、各部署より選抜され、様々な職種のスタッフによって構成されます。メンバーになると、まず、応急手当普及員の講習を受けて講師の資格を取得します。

主な活動

(1) 定例会

実技講習の研修内容の検討したり、直近の講習を受講したメンバーから新しい情報を得たりして、情報の更新や共有をしています。

(2) 実技講習

全職員を対象に、チームメンバーが講師となり毎年実施しています。

(3) 院内研修

院内での事例を踏まえたケーススタディや応急手当普及のためのスライドを作成し、全職員対象に研修を行っています。

三九朗病院の AED の設置場所

外来に2か所、各病棟に1か所ずつ設置されています。また、SHIN-SHIN とよたに1か所、リハビリデイサービスの lino(リノ)と ao(アオ)にも1か所ずつ設置しています。



実技講習の流れ ～一次救命処置（心肺蘇生とAED）

① 反応の確認

倒れている人の肩を軽くたたきながら呼びかけます。反応がなければ次へ。

② 119番通報とAEDの手配

大きな声で応援を呼び、119番通報とAEDの手配を依頼します。

③ 呼吸の確認

胸と腹部の動きを見て10秒間呼吸の確認をします。呼吸がない、または死戦期呼吸（しゃくりあげるような不規則な呼吸）が見られる場合はだたちに胸骨圧迫を開始します。

④ 胸骨圧迫

1分間に100～120回のテンポで、胸の真ん中が5cm程度沈むように強く押します。

⑤ AED到着

AEDの電源をいれます。

⑥ パッドを装着

説明のイラストを確認しながら倒れている人の胸にパッドを装着します。

⑦ 解析と電気ショック

AEDが心電図の解析を行います。ショックが必要と判断されたら、電気ショックを実行します。

⑧ 胸骨圧迫

電気ショック実行後はすぐに胸骨圧迫を再開します。倒れている人に反応が現れるか、救急隊が到着するまで⑦と⑧を続けます。



一次救命処置は、練習すれば誰でも行えます。ただ、知識だけでは、なかなか実践できないことがあります。自信をもって一次救命処置を行うためには、繰り返し訓練し、身体で覚えることが大切です。災害時にも役立ちます。当院では今後もいざというときに備えて定期的に研修を継続していきます。

ナースの部屋

患者さんの笑顔のために

東海青年医会看護研修の発表より

よりよいケアのために

看護部長 加納 明美

看護部では、自己や現場の課題について解決手法を学ぶため、毎年研修に参加しています。7月27日に「東海青年医学会」で発表した取り組みについて紹介します。



多職種によるナースコール対応から見えてきた課題

～「ここに来て良かった」と思ってもらえる病院を目指して～

三九朗東リハビリテーション病院 リハケア部 杉山 香香

●現状の問題

当院では、リハケア部という1つの部署で、全ての職種が協働していますが、感謝の気持ちが薄れてくると、関係性が悪くなってしまう可能性があります。

●目指す状態

感謝の気持ちを忘れず、良好な関係性を継続していきたい。

●問題への対処

「(コール)行きますね」「ありがとう」の声かけをより積極的に行う中心メンバーを選定。

●よりよいケアのために

スタッフ間で意識して声をかけ合うようになり、患者さんからも雰囲気がいいと褒められました。協働する上で感謝の気持ちを伝えることや声をかけやすい風土づくりを継続することで、患者さんにも「ここに来て良かった」と思ってもらえるよう継続していきたいです。

発表テーマ

疾患を理解した説明への取り組み ～高次脳機能障害に着目して～

三九朗病院 A3病棟 伊藤 真梨

●現状の問題

高次脳機能障害のある患者さんへの退院時指導が、個々の状態に寄り添っていませんでした。

●目指す状態

退院したその日から安心して生活できるよう支援していきたい。

●問題への対処

- 定期的な勉強会で高次脳機能障害の知識を深める。
- お互いの指導方法を体験し、成功・失敗事例を共有。

●よりよいケアのために

知識を深めたり、ほかのスタッフの指導方法も共有したりすることで、患者さんの理解度や状態に合わせた説明を意識できるようになりました。今後は、他職種とも相談しながら、質のよい退院支援につなげていきたいです。

発表テーマ

COVID-19下における微熱を含む発熱患者の実態調査 ～FIMから探る～

三九朗病院 B3病棟 和田 留美

●現状の問題

入院患者に感染症が発生すると、陰性と確定できる前の微熱や発熱の患者さんの対応も増えるため、業務量が増えていました。

●目指す状態

COVID-19発生時の微熱を含む発熱患者の特徴をFIM(機能的自立度評価表)*の分析から明らかにし、感染対応以外の原因へ対応することで発症者を軽減。

●考察

分析の結果、動けなくて介助量が多い場合より、何らかの理由でご自分の状態や希望を訴えられない患者さんに対する声かけなどの看護ケアが不十分であった場合に、対応が遅れて脱水や尿路感染症のリスクが高まることが分かりました。

●よりよいケアのために

リスクの高い患者さんにより積極的に声かけをすることで、罹患のリスクを減らし、スタッフの負担軽減につなげていきたいです。

* FIM (機能的自立度評価表):
日常生活動作の介助量を評価する際に活用されている指標の1つ

今後も、通常業務の中で問題を提起し、よりよい ケアにつなげていけるよう取り組んでまいります。

予約不要
ご利用無料

通いの場「のびのび」へどうぞ!

三九朗病院 リハビリテーション部 作業療法士 松井 亜希

今年4月1日にオープンした通いの場「のびのび」は、高齢者の介護予防やフレイル対策を目的として、月1回以上の多様な活動の場や機会を提供する施設です。



三九朗病院では、脳卒中などの病気や骨折などのけがをした患者さんに対し、機能回復・社会復帰を目的に、専門職のスタッフが回復期リハビリテーションを提供しています。一方、「のびのび」では病気やけがの予防から関わり、体力アップのための体操教室などを行っています。

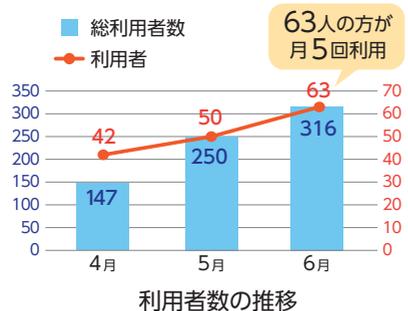
参加者は徐々に増えてきており、6月末で63人の方が月5回ほど利用されています。近隣の方（徒歩15分程度）が約7割、また、70歳代と80歳代で9割以上を占めています。

8月からは、体操教室に加え、ストレッチを中心としたやさしい運動、ゲームや脳トレなどを行うレクリエーション、医療・介護に関する健康講座・相談を開始しました。

「のびのび」のご利用によって、「体が軽くなった、動きやすくなった」などの健康への効果だけでなく、参加者同士が交流を深めたり、役割や生きがいを見出したりすることにつながると期待します。

ぜひ一度見学にいらしてください。

予約不要でご利用は無料です。



🏠 通いの場 のびのび 豊田市小坂町6丁目58

開室日 月～金曜日（土日・祝日・年末年始はお休みです）

時間 9:30～12:00 13:00～15:30

電話 0565-41-6011（担当：松井）

「ケアコラボ」でつなぐ患者さんご家族

三九朗東リハビリテーション病院 理学療法士 白比野 翔太

三九朗東リハビリテーション病院では、「ケアコラボ」という情報共有サービスを導入し、活用しています。「ケアコラボ」は、患者さんご家族と病院スタッフ、またスタッフ同士の間で、メッセージや撮影した動画、写真などをオンライン上で情報共有するサービスです。

ご家族はメールアドレスを登録することで、ご自身のスマートフォンやパソコンで、入院中の患者さんの動画などを閲覧することができます。動画を通じて、リハビリで患者さんが頑張っている姿、歩行などの日常生活動作の様子や回復の過程を確認することができます。また、ご家族から病院スタッフに向けてのコメントも投稿できます。

面会制限が緩和され、患者さんご家族が直接会う機会も増えていますが、リハビリを見学することはまだまだ難しい状況です。新たなサービスを活用しながら、患者さんご家族の思いや不安に、少しでも寄り添っていきたいと思います。

投稿した動画が
時系列順に並びます

ご家族からの
コメント



実際の家族閲覧画面
（スマートフォン）



トリアージ訓練への参加

三九朗東リハビリテーション病院 リハケア部 看護師 加仲 票語

2024年の元旦に石川県で発生した能登半島地震は、まだ記憶に新しいと思います。

私自身も決して他人事ではないと思い、不測の事態に対応できるよう災害現場で行うトリアージ研修へ参加しました。

トリアージとはフランス語で「選別」という意味で、災害発生時の混乱状態の中で多数の傷病者が発生した場合に、傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を定めることです。トリアージは一人当たり約3分以内で判断をすることが理想です。その判断をより早く正確に行うためには、日頃から知識と対応力を養っておくことが必要です。これを身につけることで、病棟での急変時対応の判断力の向上にもつながります。

今後は、トリアージや応急処置、搬送までの一連の流れが身につくように、院内での講習を計画し、多職種で連携して行えるように訓練を続けていきたいと思えます。いずれは地域で起こった災害にも対応できるように、普及活動にも携わっていききたいと思えます。



SHIN-SHIN とよた が発信します！

1日5分！ 自宅で簡単ストレッチ

首・肩こりは、長時間同じ姿勢を取ることや運動不足、筋力低下などによって悪化しやすくなります。今回は、首・肩を中心としたストレッチを紹介します。

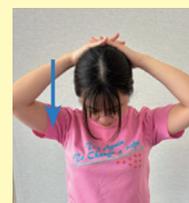
首

10～15秒程度
伸ばしましょう

強く押さずに
軽く突っ張る程度に



頭を斜め前に倒す



頭を前に倒す



頭を後ろに倒す

肩

上げ下げ

2秒程度上げ、下ろし脱力します
10～15回を目安に行いましょう

体の力を抜いて
リラックスした状態で



肩

まわし

手を肩にあて、肘で
大きく円をえがくように
回しましょう

肩甲骨を動かすことを意識して



運動は日々「継続」することが大切です。気軽に自宅で実践してみましょう！

～感染予防のため入館時の検温・手指消毒・マスク着用にご協力ください～

見学・無料体験受付中です。スタジオ参加もできます！！

●メディカルフィットネス SHIN-SHINとよた(三九朗病院内) ☎0565-34-6272

【体験受付】10:00～19:00(休館日:日曜日) 【営業時間】9:00～21:00(土・祝20:00まで)(休館日:日曜日)